

学校法人 野上学園

ブレーメン愛犬クリエイティブ専門学校 情報公開資料

1. 学園の概要

<基本情報>

<沿革>

<特色>

2. 教育目標

<教育理念>

<教育方針>

3. 学科（各コースについて）

<ペットビジネス学科：2年制>

<ペットマイスター学科：4年制>

4. 学生教育

<学生指導>

<生活指導>

<各種支援>

5. 学園の財務状況

1. 学園の概要

<基本情報>

学校名 ブレーメン愛犬クリエイティブ専門学校

所在地 徳島県徳島市佐古一番町 5 番 4 号

学校長 豊實祐之

設置者 学校法人野上学園

グループ校 神戸ブレーメン動物専門学校／東京ブレーメン動物専門学校

<沿革>

1985年 9月 香川県高松市にてグルーミング塾開校

1987年 4月 同市にてグルーミングスクール開校

1995年 4月 “香川愛犬猫美容看護学院” に校名変更

1996年 10月 社団法人日本社会福祉愛犬協会 “公認指定校” 取得

2001年 4月 徳島県徳島市にて香川愛犬猫美容看護学院 “徳島校” 開校

2002年 9月 ブレーメン愛犬クリエイティブ専門学院に校名変更

2006年 2月 徳島県徳島市佐古一番町に新校舎完成

2007年 9月 学校法人野上学園の認可を受ける

2008年 1月 徳島県よりブレーメン愛犬クリエイティブ専門学校の認可を受ける

2008年 3月 第2校舎完成

2010年 1月 KCUA（アジア育犬連盟）公認校の指定を受ける

2010年 2月 文部科学省より専門士の称号付与の認可を受ける

2012年 3月 神戸ブレーメン動物専門学校 校舎完成

2012年 3月 兵庫県より神戸ブレーメン動物専門学校の認可を受ける

2012年 4月 神戸ブレーメン動物専門学校開校

2015年 4月 ペットマイスター学科（4年制）を新たに設置

2017年 4月 東京ブレーメン動物専門学校開校

<特色>

ヒトと動物がよりよい環境で共にすごせる社会作りとペット業界の質向上を目指し、第一級のプロを育成することを目的とし、海外でも活躍する経験豊かな講師陣のもと、最新の技術と犬学・猫学・動物看護学・ドッグトレーニング学・動物美容学・飼育学・プロショップ経営学等の学科を組み合わせた実践的なカリキュラムを講習している。

「なぜ」という疑問に答えることを大切にし、自ら学ぶ意欲と実践力のある人材の育成に取り組む。

2. 教育目標

<建学の精神> 如何なるときも“凡事徹底”

<教育理念> 喜びを与える人であれ

<使命> 動物から生きる知恵を学ぶ

<教育方針>

(1) 即戦力の育成

動物が本来もっている性質や機能を深く理解し、日々変化し続ける動物業界に対応できる柔軟性のある人材を育成する。

(2) 「社会人」の育成

動物を観察し、観察力をつけることで人間社会に必要な「コミュニケーション能力」の向上を図り、マナーや道徳心をもった社会に貢献できる人間の育成を目指す。

(3) 動物への貢献

地球上に存在する多種多様な生命に対し、尊敬の心を持ち、動物たちと豊かに共生できる環境を自ら作り出せる人材の育成をする。

3. 学科（各コースについて）

ペットビジネス学科 [2年制] 定員 35名

<総合コース>

トリマー・動物看護師・ドッグトレーナー・飼育員など総合的な知識と技術を身につけ、オールマイティなプロフェッショナルを目指す

～取得可能な資格～

C級グルーマー、B級プロフェッショナル

動物看護福祉士、認定動物看護師、ドッグトレーナー

<トリマーコース>

一般ペット美容室で施されている技術はもちろんドッグショーでのショークリップ[®]技術を履修

～取得可能な資格～

C級グルーマー、B級プロフェッショナル

<動物看護コース>

動物看護、セラピスト、動物福祉、ペットケアのスペシャリストを目指す

～取得可能な資格～

C級グルーマー、B級プロフェッショナル、動物看護福祉士、認定動物看護師

<ドッグトレーナーコース>

ワンちゃんの頼れる先生を目指す。基本的なしつけはもちろん、専門技術のアジリティやハンドリングも身につけられる

～取得可能な資格～

C級グルーマー、B級プロフェッショナル、ドッグトレーナー

ペットマイスター学科 [4年制] 定員5名

<教員育成コース>

～取得を目指す資格～

C級グルーマー、B級プロフェッショナル、A級スペシャリスト

動物看護福祉士、認定動物看護師、ドッグトレーナー

<グルーマー育成コース>

～取得可能な資格～

C級グルーマー、B級プロフェッショナル、A級スペシャリスト

4. 学生教育

<学生指導>

担任・副担任制、少人数制で1人1人の生徒に目が行き届いた指導を行っています

<生活指導>

挨拶・マナー等の社会人として必要な事はもちろん、コミュニケーション能力を養う

授業をカリキュラムに組み込んでいます。

<各種支援>

・学費サポート制度

- － 一人暮らし支援金制度
- － 通学定期代サポート支援金制度
- － 兄弟親子割引制度
- － 編入割引制度
- － 公的奨学金制度（日本学生支援機構）
- － 教育ローン制度（日本政策金融公庫／民間教育ローン／銀行教育ローン）

5. 学園の財務状況(平成28年度)

○資金収支計算書

(単位 円)

収入の部		支出の部	
科目	金額	科目	金額
学生生徒納付金収入	138,130,000	人件費支出	66,470,824
手数料収入	240,200	教育研究経費支出	9,272,889
補助金収入	2,843,100	管理経費支出	26,406,456
資産売却収入	10,292,836	借入金等利息支出	631,437
事業収入	37,998,491	借入金等返済支出	6,708,000
受取利息・配当金収入	3,040	施設関係支出	122,101,877
雑収入	486,820	設備関係支出	1,374,375
借入金等収入	50,000,000	資産運用支出	607
前受金収入	110,599,000	その他の支出	10,539,434
その他の収入	10,787,074	資金支出調整勘定	△822,215
資金収入調整勘定	△110,435,000	次年度繰越支払資金	179,877,895
前年度繰越支払資金	171,616,018		
収入の部合計	422,561,579	支出の部合計	422,561,579

○貸借対照表

(単位 円)

資産の部		負債の部	
科目	金額	科目	金額
固定資産	500,644,653	固定負債	126,425,000
有形固定資産	500,644,653	長期借入金	126,425,000
		流動負債	119,936,805
		短期借入金	7,748,000
		未払金	532,215
		前受金	110,599,000
流動資産	179,902,895	預り金	1,057,590
資産の部合計	680,547,548	負債の部合計	246,361,805
		純資産の部	
		基本金	393,327,835
		翌年度繰越収支差額	40,857,908
		純資産の部合計	434,185,743
		負債及び純資産の部合計	680,547,548